

【脱炭素】クリーンなエネルギーの供給へ
台湾CPC社と脱炭素化に関する協業へ向けて検討開始
～環境にやさしいエネルギー“e-メタン”、アジアでの展開を目指して～

時代に沿ったサービスで人々の暮らしを支える大阪ガス株式会社(社長:藤原 正隆、以下「大阪ガス」)は、脱炭素化に向けた取り組みとして、台湾中油股份有限公司(以下「台湾CPC社」)と、台湾における「e-methane」※1(以下「e-メタン」)導入をはじめとした、脱炭素に関する共同検討を開始するための契約を締結しました。今後は、e-メタンを台湾に導入し活用する検討や水素、アンモニア、バイオガス等の新エネルギー分野に関する検討を共同で実施します。

※1:グリーン水素などの非化石エネルギー源とCO₂を原料として製造された合成メタンに対して用いる呼称



メタネーション。
CO₂をリサイクルして
未来の都市ガス「e-メタン」を
つくる技術です。

カーボンニュートラルビジョンWEBサイト:<https://00m.in/bdDX8>

共同検討の背景

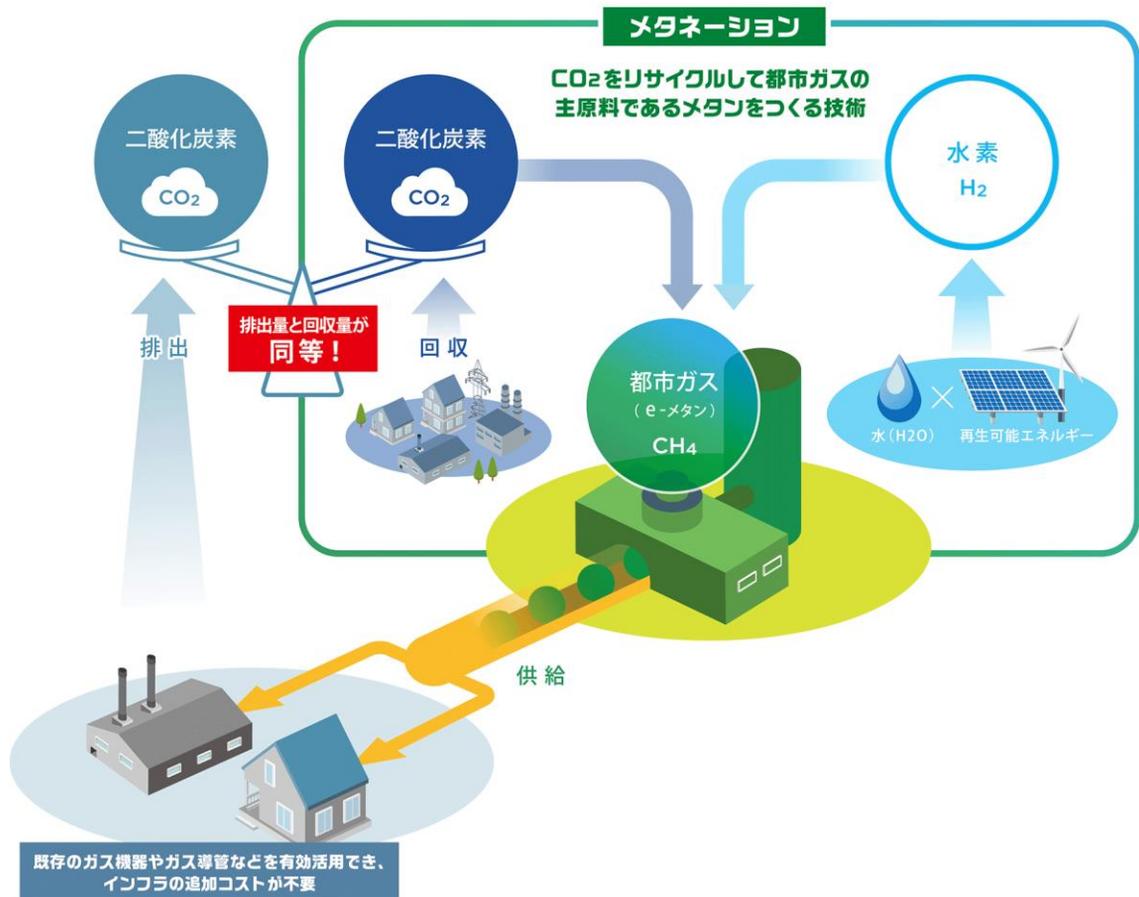
大阪ガスと台湾CPC社は、液化天然ガス(以下「LNG」)調達分野での協業関係に加え、Daigasグループとして1990年に台湾CPC社の永安LNG受入基地の初期工事(試運転)を支援し、受入基地に関わる事業へ継続的に従事した歴史があり、強固な信頼関係を築いてきました。

Daigasグループは、都市ガスの脱炭素化を実現する新エネルギーとしてe-メタンを普及させるため、日本国内での技術開発・実証に加えて、北米、南米、豪州、中東、東南アジアなどでのe-メタン製造事業の可能性を検討しております。日本のみならずアジア地域全体における脱炭素化に向けて、e-メタンの利用・普及を目指しています。

大阪ガスの目指す脱炭素化

大阪ガスは、2050年の脱炭素化実現に向けて、他社と協業しながら技術開発に挑んでいます。

CO₂をリサイクルし、「e-メタン」として生まれ変わったクリーンなエネルギーを一般家庭に供給する未来を実現する「メタネーション」を確立させ、地球と人にやさしい生活インフラの提供を目指しています。



この度の共同検討でポイントとなるe-メタンは、現在使用されている都市ガスとほぼ同じ成分です。そのため、都市ガス供給のために使用されている設備などのインフラ、お客さまが使用されている燃焼機器をそのまま利用でき、社会的にコストを抑えながら脱炭素に向けてスムーズに移行することができます。

Daigasグループは、2021年1月に発表した「カーボンニュートラルビジョン」や2023年3月に発表した「エネルギー転換ビジョン2030」※2のもと、これまでの天然ガス利用拡大の取り組みに加えて、脱炭素社会に貢献する技術・サービスの開発に取り組み、気候変動をはじめとする社会課題の解決に努め、暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループを目指してまいります。



※2:2023年3月9日「Daigasグループ エネルギー転換ビジョン 2030の策定について」で公表済

■会社概要

企業名 :大阪ガス株式会社
本社所在地 :大阪府大阪市中央区平野町四丁目1番2号
代表 :代表取締役社長 藤原 正隆
設立日 :1897年4月10日
事業概要 :ガスの製造・販売、電力の発電・販売 等
WEBサイト :<https://www.daigasgroup.com/>

